

地域医療連携センターニュース

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

発行 地域医療連携センター

電話 042-558-0321(代表)

FAX 042-550-5190(直通)

ご挨拶

公立阿伎留医療センター

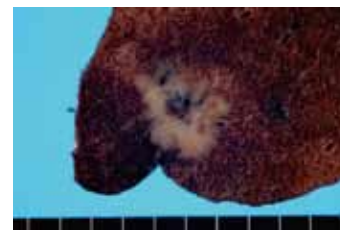
呼吸器外科部長 三浦 弘之

2017年5月から公立阿伎留医療センターに赴任し、呼吸器外科部長を拝命いたしました。卒業以来32年間、特に肺癌治療に心血を注いで参りました。改訂されたばかりの肺癌取扱い規約第8版の執筆にも携わりました。西多摩医療圏の肺癌診療ならびに呼吸器外科疾患治療に邁進いたします。胸部X線で異常陰影を認めたり、喀痰細胞診で肺癌を疑う細胞がありましたら、遠慮なくご紹介ください。迅速に診断し、最新の知見を駆使して最適な治療を行います。

<対象疾患>

1 原発性肺癌

従来、小細胞癌か非小細胞癌かで治療法が異なりましたが、新規抗癌剤の開発、分子標的治療の進歩により、扁平上皮癌か非扁平上皮癌かでも治療が異なるようになりました。気管支鏡生検時に、組織型だけではなく、上皮成長因子、ALK 遺伝子、免疫チェックポイントであるPD-L1発現を検索し、呼吸器内科と検討のうえ、手術を含めて適切な治療を行います。手術には胸腔鏡を併用し、より侵襲の少ない手技を提供いたします(写真は肺腺癌)。



2 転移性肺腫瘍

原発巣がコントロールされており、他臓器に転移のない全身状態のよい患者さんに手術適応があります。末梢肺にあるものは原則的に胸腔鏡で肺部分切除を、中枢にあるものは肺葉切除で対処します。大腸癌由来が最も多く、転移個数3個以内ならば延命効果があります。腎臓癌、甲状腺癌由来の腫瘍は成長が緩徐で、摘出することにより延命できる可能性があります。

3 良性肺腫瘍

過誤腫、硬化性血管腫が代表的です。大型のもの、肺癌と鑑別を要するものは切除いたします（写真は過誤腫）。



4 縦隔腫瘍

前縦隔には胸腺腫、奇形腫、縦隔内甲状腺腫、後縦隔には神経原性腫瘍、中縦隔には気管支囊腫や心膜囊腫などがあります。小さなものは胸腔鏡下に、大きな胸腺腫などは胸骨正中切開で摘出いたします（写真は胸腺癌）。



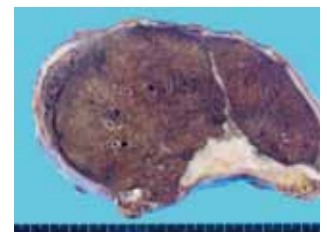
5 気胸、嚢胞

20-30代に多い自然気胸は、肺の表面にできた嚢胞破裂に由来するものが多く、再発性、血胸合併、両側性、肺漏が続く症例に対し、胸腔鏡下で手術いたします。緊張性になると致死적입니다ので、疑い症例でもご相談ください。女性の月経随伴性気胸は、横隔膜の瘻孔や子宮内膜症に起因するため、胸腔鏡下に修復～切除いたします（写真は肺嚢胞摘出術中所見）。



6 悪性胸膜中皮腫

石棉暴露後10～40年経過して発症してきます。原因不明な胸水貯留がある場合、ご相談ください（写真は手術例）。



<終わりに>

いずれの疾患も早期に治療することが重要です。少しでも疑問に感じる症例がありましたら、ご相談ください。

～地域医療連携センターより～

三浦医師の外来日は、月曜日・木曜日となります。FAX予約をご利用ください。

当日の受付も可能ですが、待ち時間が長くなりますので、なるべく予約をお取りくださいますよう、ご協力お願いいたします。

看護の日について

5月12日（金）の8時30分より、あきる野市役所1階ホールにて看護の日のイベント「看護フェスタ」を開催しました。

例年、院内の患者情報センターで開催しておりましたが、より多くの市民の皆様を知っていただくことと今年初めてあきる野市役所での開催となりました。

主な内容は、①生活に取り入れた転倒防止策、②正しい手洗いで自分を守る（手指衛生）、③アロマオイルでハンドマッサージ、④正しい創傷処置の4つをテーマに、看護師8名と理学療法士2名が参加し、実演を含めたPR活動を行いました。多くの方々から参考になったとご好評をいただきました。

ただ、PR不足もあり、予想より来庁者が少なかったため、次年度は会場や時間の選定について検討が必要との意見が出されました。



平成29年度第1回地域に向けた研修会について

5月31日（水）の18時30分より、地域の介護保健施設、介護福祉施設、訪問看護ステーション、介護支援事業所等の看護職、介護職の方々を対象とした研修会を開催しました。

今回は、「内服薬について」をテーマに当医療センターの山本秀行薬剤科長が講演を行いました。主に①薬の投与の目的（治療・対象療法）②薬が体内を移動する経路 ③薬の効果が現れる条件 ④薬の服用方法を中心に質疑応答を含め1時間の研修会となりました。

35名の方々にご参加いただき、ありがとうございました。次回は7/28（金）に「ストマケア・創部交換」（訪問看護師、施設内看護師の方対象）を開催予定です。（開催通知は1ヶ月前頃、改めてFAXいたします。）



第8回秋川歯科医師会市民講座について

4月15日(土)の14時より、まほろばホール(旧五日市庁舎3階)において、第8回秋川歯科医師会市民講座「口腔がん」～気になることがあればかかりつけ歯科で検診～が開催されました。

当医療センター歯科口腔外科の荻野靖人科長が、口腔がん検診の必要性、早期発見のシステム、予防対策、検診実績、良性腫瘍と悪性腫瘍の違い等用語解説を含めた講演会となり、多くの住民の方々が熱心に耳を傾けていました。



荻野歯科口腔外科長



葉山先生
(秋川歯科医師会 会長)



高取先生
(西多摩歯科医師会 会長)



荒川院長

常勤医師の入退職について(5月～6月)

(入職)	平成29年5月1日	呼吸器外科部長	三浦 弘之
		消化器内科	舘脇 李絵
	6月1日	産婦人科部長	佐藤 真一
(退職)	平成29年4月30日	消化器内科	松田 昌範
	5月31日	総合内科長	井口 森智

(6/1～非常勤として勤務します)

花の寄贈について

ボランティアの方より、緩和ケア病棟の庭園に花を寄贈いただきました。
華やかな雰囲気になり、患者さんから喜ばれています。



※地域医療連携センターニュースの内容についてのお問い合わせは、蓑島・神田までお願い申し上げます。
(電話 042-558-0321 代表) FAX 受診申込書や紹介患者用封筒がなくなりましたら、ご連絡ください。
持参または郵送させていただきます。